

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式										
E112L002		技術科授業論 (Practical theory of Industrial Arts)																
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員												
必修	2	4	教育学部 平成31年度以前入学生用			氏名 中原久志, 市原靖士 E-mail nakaharah@oita-u.ac.jp (中原) 内線 7590 (中原)												
授業の概要	中学校技術科の基本的な学習指導方法を理解し、授業の設計、実践、評価に関する実践力を習得する。																	
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1 技術科の学習指導方法と授業設計の考え方を理解する。																		
目標2 技術科の4内容に即した効果的な教材・教具の活用と実践事例を知る。																		
目標3 技術科の学習評価の考え方と実施方法について理解する。																		
目標4 上記を踏まえた授業を設計し、マイクロティーチングを行うことで、自己の指導力向上に向けた課題を把握する。																		
目標5																		
目標6																		
目標7																		
目標8																		
目標9																		
目標10																		
授業の内容																		
1 技術科の学習指導方法と授業設計の考え方(担当:中原久志) カリキュラムと題材、授業の構成、バーチャル授業研究(VTR視聴)																		
2 技術科の学習指導方法と授業設計の考え方(担当:中原久志) 教授スキルと学習支援のあり方、教材・教具とICTの活用																		
3 4内容に即した教材・教具の活用と授業の実際 「材料と加工の技術」の授業づくり(担当:中原久志) 目標と内容、題材及び実践事例の検討																		
4 4内容に即した教材・教具の活用と授業の実際 「材料と加工の技術」の授業づくり(担当:中原久志) 教材・教具の活用と指導の実際																		
5 4内容に即した教材・教具の活用と授業の実際 「エネルギー変換の技術」の授業づくり(担当:中原久志) 目標と内容、題材及び実践事例の検討																		
6 4内容に即した教材・教具の活用と授業の実際 「エネルギー変換の技術」の授業づくり(担当:中原久志) 教材・教具の活用と指導の実際																		
7 4内容に即した教材・教具の活用と授業の実際 「生物育成の技術」の授業づくり(担当:市原靖士) 目標と内容、題材及び実践事例の検討																		
8 4内容に即した教材・教具の活用と授業の実際 「生物育成の技術」の授業づくり(担当:市原靖士) 教材・教具の活用と指導の実際																		
9 4内容に即した教材・教具の活用と授業の実際 「情報の技術」の授業づくり(担当:市原靖士) 目標と内容、題材及び実践事例の検討																		
10 4内容に即した教材・教具の活用と授業の実際 「情報の技術」の授業づくり(担当:市原靖士) 教材・教具の活用と指導の実際																		
11 技術科における学習評価(担当:市原靖士) 学習評価の考え方、観点別評価、評価基準(ルーブリック)の作成方法																		
12 技術科における学習評価(担当:市原靖士) 学習評価演習(テスト作成の演習、レポートを評価する演習など)																		
13 技術科の授業づくり演習(担当:市原靖士・中原久志) 学習指導案の作成																		
14 技術科の授業づくり演習(担当:市原靖士・中原久志) マイクロティーチング																		
15 技術科の授業づくり演習(担当:市原靖士・中原久志) 授業の評価と改善																		
ラーニング	A:知識の定着・確認	演習, 実技, 自己・他者評価, ディスカッション				工夫	その他の											
	B:意見の表現・交換																	
	C:応用志向																	
	D:知識の活用・創造																	
時間外学習の内容と時間の目安	準備学修	技術科教育概論を熟読する(30h)																
	事後学修	課題レポートを作成する(30h)																
教科書	中学校学習指導要領、中学校学習指導要領解説技術・家庭編、技術科教育概論																	
参考書	文部科学省検定済教科書「新しい技術・家庭 技術分野」東京書籍 文部科学省検定済教科書「技術・家庭 技術分野」開隆堂																	
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10						
	授業づくり演習	50%																
	期末考査	50%																
注意事項																		
備考	この科目は『地域創生教育科目』です。																	
リンク	URL																	